

第4回小田原市立病院再整備基本構想策定検討委員会の概要

日 時 平成30年11月12日（月） 18時00分から19時10分まで

場 所 小田原市立病院本館2階 会議室

出席者 市立病院再整備基本構想策定検討委員会 11名

渡邊委員長 木村副委員長 齋藤委員 砂田委員 河野委員

八ッ橋委員 秋山委員 市川委員 猪口委員 岩堀委員 小宮委員

市立病院 13名

川口病院長 寺崎理事・副院長 松田副院長 守田医療技術系診療部長

加藤病院管理局長 蓑島病院管理局副局長 津田経営管理課長

湯山医事課長 勝又経営管理課副課長 石井経営管理課副課長

小林病院経営係長 小野経営管理課主査 霜田経営管理課主任

会議概要

1 開会

2 議事

- (1) 小田原市立病院再整備基本構想（素案）に対する市民意見募集の結果について
（資料1）

事務局（病院経営係長）から資料1に基づき説明した後、次のとおり質疑応答が行われた。

委員長

まず、資料1について市民から意見が出され、それに対する市の回答だが、この内容に関しては概ねこれまで策定検討委員会の中で検討されてきた内容を改めて説明するという範疇で考えていいと思うが、ご意見はいかがか。

今後一番問題になるのは建替えの場所の問題とそれに絡む交通を中心とした整備の問題ということになると思うが、交通網の整備は市立病院の建替えとは直接関係ないということで、市の別の構想ということになると思う。いかがか。

（質疑なしとの声あり）

委員長

それではこの議題に関しては、この内容で委員の皆さんは了承されたということにする。

- (2) 答申について（資料2-1、2-2）

事務局（病院経営係長）から資料2-1、2-2に基づき説明し後、次のとおり質疑応答が行われた。

委員長

これが一番大切なところであるが、資料の2-1の答申についてこの内容でよろしいか。まず項目として何か抜けているものがないかどうかご質問があればどうぞ。これはこの会議が始まる前に予め設定した内容なので特に質問はないということでもよろしいか。

資料2-2の再整備基本構想案についていくつかの変更点があるが、基本は前回の会議に示した内容になる。この策定検討委員会で話し合った内容で、現時点ではこの範囲までということになるが、委員会の委員の方また市立病院の事務局の中で、内容をもう一度再確認して、これで問題がないかどうかの確認だけ取りたいと思うが、いかがか。

市立病院の再整備のうち建築の場所について、様々なところで質問を受ける。前回も説明があったように今の時点で現地が一番合理的に建替えを進められるだろうと考えられている。他の場所についてということも含めて改めてここで委員を始め他の市民の方々から質問があったときに、回答ができるようにもう一度事務局から説明をお願いしたいと思う。

病院管理局副局長

建替えの場所については、以前の基本構想素案の中では「基本計画策定の中で決定をします。」という形になっていた。基本計画の策定作業に入るわけだが、ご承知の方もいらっしゃると思うが、その計画の中には医療機能面の部門別の計画や施設の整備計画的なものを入れる。整備計画については設計などでは無いが、施設のボリューム感を出して、平面的にどの機能をどこに配置するかというものを作成すると想定している。まずは「現地で建替えの検討を進める」という記述をしてあるが、現地の中でどの程度のボリュームの施設が現行の土地利用規制、都市計画法上の制度等を活用した場合に、建替えが可能であるか一定の見極めをしないと、それまでの基本計画の検討作業が手戻りする可能性も出てくることが想定される。そうした中で現地での建替えを検討していくと宣言しているので、そこを具体的に詰めていった時に、これなら大丈夫と言う見極めをしてから基本計画の策定に入っていくというような流れを考えている。建設場所の検討の表記を変えているが、ただ我々事務局が考えていたのは作業の進め方というのは変わりがなく、きちんと明らかにしていくと言う表記に修正をしている。今後まずは現地での建替えの可否について見極め作業を進めていきたいと考えている。次にスケジュールについて修正の説明をさせてもらいたいですが、もともと掲げていたスケジュールは一般的な工程よりもかなり高い目標として設定している。十分な検討をしていく期間をしっかりと取っておく必要があると考えている。そうしないと、結局は後で遅れてしまう懸念がある。以上の事から十分な検討期間を置きつつ、他の事例を見た中で遅くとも2025年度までの開院を目指してスケジュールの修正をしたところである。

委員長

ただいまの説明で委員の皆さんはご理解いただけたか。

委員（岩堀委員）

以前の説明では現地に敷地を足してという事だったが、それはスムーズにいくとして、パブリックコメントの（２）新病院整備の概要に関することの１番目の市民意見で別敷地うんぬんとあるが、現地以外の他の場所で建替えるという結論は出るか。これは現地建替えありきでいかないと難しいのではないか。現地建替えができるかどうかを検討しなければいけないというのはよく分かるが、現状では現地で建て替えるしかないように見えるが、いかがか。

病院管理局長

委員がおっしゃるように現地ではなくて他の場所となるとその選定にもかなりの時間がかかってくる。そういう意味では、現地での建替えの可否を見極めてというところは、現地が良いかどうかではなく、現地で建たないのかどうかの可否を見極める、現地で建てられないか、どういうものが建つか。委員の皆さんにご検討いただいたような新病院の機能ができないのかどうかの視点での見極めになろうかと思っている。可能な限り現地での建替えの可能性を探る意味合いでの見極めと思っている。

委員（岩堀委員）

言っている意味は分かる。事務局から以前、ボリューム的には現地に建てられるだろうということを伺った。病院が建つ前の現地は、田んぼだったのか。建物のボリュームだけではなく、掘削してみたらゴミが出てきたとか土壌汚染があったとか結構色々課題が見ついている場合がある。そのような課題があるととても１年では間に合わないと思う。基本構想案はよくまとまっている。しかし、これは理念なので具体的にしていくと、なぜそうなのかという理由とか根拠を示す大変な作業が待っている。場所もそうだが、同時進行でいろんなことを詰めていかないといけないのではないかと思う。

病院管理局長

確かに地下に何があるかというのは気になる場所なので、検証をする必要はあるとは考えている。現在駐車場になっている場所を中心に確認するという事になると、第一回委員会の時にご説明したかと思うが、埋蔵文化財の調査の必要もあり、スケジュールを立ててやっていく必要があると考えている。

委員長

数年前に道向かいの小田原医師会の建物を建てたが、その時も埋蔵文化財調査を行い、昔の住居跡の遺跡が出てきた。向こう側は工場があった場所だったが、危ないものがあるかどうかの確認もしたが安全性は確保されていた。それから、現地建替えありきと聞こえてしまう論法が荒っぽいのではないかということについて、私も事務局に話をした。まず予算的及び時間的な問題、また、この地域の空き地の問題等を考慮して、他で建てられる場所があるのか無いのかということをしつかりと話をした方が良いのではないか等、問題が分かっているのであればそれを話した

上で今のところ現地建替えが一番妥当であろうと考えてそれに向けてやっていきたいと丁寧な説明をした方が良いという話をした。

病院管理局長

建設場所について、企画部を中心にいくつかの場所について、検討を過去にしている。ただ、考えられる場所のうち、市の市有地で検討した場所については1か所ぐらいしかない。そういう中で、都市計画法での規制ではどういう用途地域になっているか等を含めて、病院の建設場所としてふさわしいかどうか、患者や医療従事者の交通の利便性が良い場所かどうか等から考えると、なかなか適地があまりない状況である。市有地でないところで検討していく場合、不確定要素として土地の取得がいつ頃になるか等課題が大きくなっていく。建設計画は、広い場所を確保すれば、設計をしやすいと思うが、場所の確保に時間がかかると場所の確定がなかなか難しい。現状では、現地で診療をしながらという難しい課題はあるが、用地は確保されている中で建築が可能という判断がなされれば、現地で進めていく方が結果としては短期間で進めていくことができるという考えで進めている。

委員（岩堀委員）

いずれにしても早く決めないといけない。駐車場のところは病院の土地になっているのか。これから買収をするという土地は一切無いのか。

病院管理局長

新しく建てる場所として検討しているところを買い増しするところは、大きなところとしてはない。場所を示すわけにもいかないが、一部民有地があるので検討する必要があると思う。

委員（岩堀委員）

難しいところだ。時々着工する直前になっても土地が確定してない場合があると聞く。早急に決めた方が良くと思う。

木村副委員長

今ここではっきりしていかないと基本計画の中で、現地で建てられないから別の場所を検討するというのは無理だと思う。ある程度腹を決めるしかないと思う。検討している中で現地が無理だから別の場所を探そうと言うと、また計画が延びてしまう。この基本構想では2025年に開院する予定だが、現地建替えと決めたのにだめになったときにまたズルズルと延びてしまう。スケジュールが伸びてしまうのが一番困る。その辺りの考えについて教えて欲しい。

病院管理局長

現地建替えの可否を見極めた上でというのは、早急に見極めないといけないと考えている。それにあたっては、都市計画として成り立つのかが一番大きなポイントになると考えており、都市計画関係のコンサルタント等にそれを検証させる手続きに入っているところだ。そういったものを基礎にして年度内には確定するかどうか不確定だが、方向性までは出したいと考え進めている。

委員長

現地建替えということで進めていくのであれば、必要なのは面積が今の所有地間に合うのかどうかだ。間に合わないのであればどうするかだが、この建物の東側にある県営住宅を含めた土地まで拡張できるかどうかが議論になると思う。県から譲ってもらえることができるかどうか、今から話を進めないで遅いのではないかと思う。そこまで用地が確保できれば電車の駅に近くなるので、今よりも患者としてはアクセスが良くなると思う。その辺も今年度中に当たれるものは当たって現地で建替えを進めるのであれば一緒に考えてもらいたい。

病院管理局長

県所有地を使ったとしても、建物の建設場所としては位置的な関係で難しいと考えている。例えば、県有地の場所は駐車スペースや工事中の資材置き場等としての活用を検討している。個別の場所についてはこれからの交渉事になるが、県有地についてはすでに可能性の投げかけは行っている。必要な場所の確保については考えているところである。

委員長

基本構想策定の後に病院の具体的な中身の話し合いが始まるはずなので、まずは土地の問題を検討して行くことになると思う。資料2-1、資料2-2に対するご質問は委員の皆さんいかがか。これでよろしいか。それではその他という項目があるが、他にご質問等ある場合はどうぞ。

せっくなので、順番に一言ずつご意見をいただいて、この会議の締めくくりにしたいと思う。まずは八ッ橋委員からお願いしたい。

委員（八ッ橋委員）

特に言う事はないが、答申案の4番、地域医療連携についてだが、文字だけを見ると地域包括ケアシステムが入っていないが、文言の説明で地域包括ケアシステムが入っていたのでこれでいいのかなと納得した。

委員（河野委員）

我々としてもぜひ早く新病院を建てていただいて、昨今言われている多職種あるいは医科歯科の連携をしっかりとスクラムを組んで、やっていただけるようにしてもらいたい。

委員（砂田委員）

私は利用する患者の立場と看護師の代表なので、看護職だけではなく病院で働く医療職が働きやすい病院づくりということ意識して、委員としてやらせていただいた。病院内でいろんな意見を踏まえた形で、ぜひ先ほどから出ている懸念問題を早く解決しながら一日も早く新病院ができたら良いと思う。

委員（斉藤委員）

第一回会議の時に地域連携とか地域包括ケアシステム等が議題にあがって、薬剤師会と一緒にやっていくということで問題ないと考えている。また、地域医療連携室の強化というところが最初に出ているので安心している。個人的には市立病

院に以前勤めていたので、災害に強い病院を作ることが盛り込まれているので大変嬉しく思っている。

委員（秋山委員）

病院を利用させていただく立場で言わせてもらおう。だんだん高齢化も進んで新しい病院を作っていただけるのなら交通の便が良く、皆さんが診察に行きやすい病院にしていだきたいと思っている。車を運転する市民ばかりではないので、バスを使ったり、電車を使ったりする市民がとても使いやすい病院になることを願っている。

委員（市川委員）

私も市民の立場であるが、民生委員として高齢者や障害のある方と携わっている。その方たちが安心して通院できるような病院ができたら大変うれしく思う。

委員（猪口委員）

この基本構想はよく大変できていて、異論はない。この際1つ質問したいが、パブリックコメントを見ると大雄山線や小田急線の話が出ているが、現在の患者の来院方法は車とか電車で来るとか、どんな構成要素なっているか調べていたら教えてほしい。

病院管理局長

来院患者の構成比率については調査していない。今後、患者アンケート等を使って調べていきたいと思う。

市立病院には約350台の駐車場があり、バスの便が小田原駅の東口西口の両方から出ているので、診療時間帯はおそらく10分から15分間隔でバスが出ていると状況かと思う。外来だと1日1050人から1100人ぐらいの方がおいでになっている状況である。

委員（猪口委員）

高齢化で市立病院のアクセスを一番気にされると思うので検討してほしい。

委員（岩堀委員）

先程言ったとおり、基本構想はよくまとまってわかりやすいと思う。今までは、基本構想なので考え方ということになるが、これを形にするというのが大変なことである。病院の医療スタッフが一番病院の事をわかっているので、病院の中で色々と議論してどうあるべきかをまとめて具体化していった方が良いと思う。もちろん患者に関しても議論すべきだが、議論の中でも一番よく分かっている方が自分の病院として作っていただきたいと思う。

委員（小宮委員）

私は、市民の立場として自身も医療職なのでそういう面から参加した。色々と意見を言わせてもらったが、特に地下水の利用については、必要不可欠だと思っている。また、今日もらった資料の中の基本構想案27ページにある災害拠点病院の整備の中に特に大地震に備えての免震構造とあるが、確かにこの地域は地震に弱い地域である。耐震性等特にダンパーの問題とかあるが、やはり岩堀委員がおっしゃっ

たように土質を早急に調べて具体的に進めなければいけないと思う。それから、電気設備の非常用電源について強化していくことについて、前回の委員会でも発言したが、蓄電池が非常に発達してあと5年もすれば大容量の蓄電池が可能だといわれている。特に燃料の発電機というのは燃料の保管等で大電源が得にくい状態である。私も病院に勤めていたがその病院は非常用電源が3日しか持たないと聞いた。そこで、市立病院には大規模なソーラー発電でカバーしていく必要があると思っている。このことがこの基本構想に入っていると解釈してよいか。それから、病院の建設手法の話だが、少し分からない部分があったので自分で調べたが、どの方式を使うのかを最初から決められないものか。この中にはE C I方式があるが、コンストラクションマネジメントの業者がいて、病院建設に詳しい業者ということだが、すでに調査はしているのか。

病院管理局長

まず、病院の建物がどういう形になり、そして、ヘリポートの設置が必要になるので、ソーラーとかの発電設備が設置できるかどうかを基本計画の中で考えていくことになろうかと思う。整備手法については、事務局としてもコンストラクションマネジメント業者については承知をしている。整備手法を考える中で設計や施工を委託した業者と病院側に立って業者との間で交渉なり助言をしてもらおう、という観点でコンストラクションマネジメント業者の重要性が高いと考えている。整備手法を検討する中でそういったことを含めて検討していく。

委員（小宮委員）

電源についてもう一度述べる。地下水の活用についてさらに電源が必要になると思う。従来だと病院に必要な医療機能だけを動かすための電源の確保しかできなかったが、プラスアルファの大容量の電源を得るためにはソーラーが必要だと強く感じている。確かにヘリポートは大事だが電源を確保していくという考えで進めてもらいたいと思う。それから整備手法についてだが、私は病院の建替えを何回か経験したが、民間病院では経営者と現場とが折り合いをつけながらやっていた。予算の関係もあると思うが、市立病院の職員の方々も知恵を出し合って、意見を出してそれを反映できるような形でやってもらえたらと思う。

委員長

今発言のあった内容は、これから実際に病院をどうやって設計していくのかの段階について新しい検討組織が発足すると思うが、そのメンバー構成を含めてしっかりと考えを固めて進めていってほしいと思う。

副委員長

現地建替えについて色々と発言したが、地域住民に聞くと新しく別の場所に移転するより、通いながれているので現地の方がいいという意見が多い。それから、市議会議員から聞いたが、現地建替えという話が出ており、市議会議員自体がそういう認識でいる。私から言ったわけではないが、もう決まっているような形で話が出て

きている。こういう話が出ていると全く別の場所を探すというのは無理であろうからぜひ早く場所を決めてほしいと思う。

病院管理局長

市議会定例会において、市立病院の建替えについてどうやって進めているのか、建設場所についてどう考えているのか等の質問をもらっている。市議会に対しては、まずは現地から考えていくと答えている。また、基本構想素案について、パブリックコメントを行う直前の段階の9月定例会で基本構想素案の内容について報告をしているので、市議会議員はそこまで承知をしている。

委員長

委員の方々から一通りご意見をいただいた。それから、患者の通院手段の調査をやって欲しいと思った。どこの病院も統計が取れていると思っていたので、まだよくわからないというのはまずいのではないかと思う。通院手段を調べるのは病院を設計する上では大切なことだと思うのでしっかりやっていただきたい。

それと、答申書の中で大切なことを1つ落としていると気がついた。どこの病院でもどこの地域でも一番問題になっているのは人材確保である。この委員会の議論で直接人材確保のことは出ていないと思うが、答申書の中に人材確保が進められるような基本構想にすべきというのをに入れておいた方がいいと思う。例えば人材が十分に揃わない状況というのは考えられるわけで、そういう中でも運営できる方法を考えるなどと盛り込んでいった方がいいと思う。それから、歯科医師会、薬剤師会、看護師の方々からも話がでたが、地域医療連携について答申書の4番に「小田原医師会等関連機関」とあるが、これだと小田原医師会だけに聞こえてしまうので、もう少し幅広い文言を付け加えた方がいいと思う。地域包括という言葉を入れておいた方が分かりやすいと思う。

あとそれから、今後の建設に関して話し合う場はどういう風になるか教えていただきたい。市立病院運営審議会の中で議論していくのか、それとも建設委員会みたいな新しい委員会を立ち上げるのか、教えていただきたい。

病院管理局副局長

基本計画の策定スキームについて、どういう風にやっていくかということだが、市立病院運営審議会を使うのか他の組織を使うのかだが、現時点では確定していない。また、このスキームについてもいろんなやり方があるかと思うので検討していきたいと思う。本委員会のように特別に委員会を作る方法もある。例えば病院運営審議会をコアにして、学識経験者の方をオブザーバー的に参加していただく方法もあるかと思う。岩堀委員がおっしゃったように現場の医療職が一番分かっているので、病院内の職員で基本計画を検討していくプロジェクトチームを作るとかいろんなやり方はあるかと思う。それらはいろいろなやり方から最適なやり方を見つけていくというところで、現状では決まったスキームというものはない。市立病院運営審議会の委員の皆様、基本構想策定検討委員会にご参画いただいた皆様には今

後の基本計画の策定の進捗の情報を提供してご意見等を賜ればと考えているが、まだ確定事項ではない。

委員（岩堀委員）

今の件だが、病院内の委員会が必要だと思う。また、交通量調査とかはプロの仕事である。そういう専門的なことも課題が出てくると思う。日常の業務プラスアルファでやるわけなので、医療スタッフは協力してくれると思うが、現状の戦力にプラスアルファの業務をこなすとなると無理があると思う。プロジェクトチームをいくつか作った方がいいと思う。私も病院建設でアドバイスしている病院がいくつかあるが、それを見てもそういうふうを感じる。考えていただければと思う。

委員長

今後のことで話をさせてもらったが、これだけタイトなスケジュールを組んでいる割には細かいところが決まってないと印象を受ける。少なくともプロジェクトチームみたいなものを作ってやるのが一番安全だろうと思う。また、情報公開の事も考える必要があるが、誰が決めたのかとか分からなくなる危険性があると思うので、早急に小さなまとまりでもいいので、作ってもらって後につなげていただきたいと思う。このことは、議事録に残してもらいたいと思う。それでは、一通り意見が出たと思うので、この答申について提出の方法の説明を事務局にお願いする。

経営管理課長

答申書を市長に提出する方法の件だが、本来ならば委員の皆様全員がお揃いのところで市長に答申書をお渡ししていくのがよろしいかと思うが、なかなか皆様お忙しいかと思うので、提案ではあるが渡辺委員長と木村副委員長に委員会を代表していただき後日市長に答申書をお渡ししていただくのがよろしいかと思うが、いかがか。

(委員からお願いしますとの声あり。)

委員長

それでは、私と木村副委員長と市長でアポイントを取り答申書を提出したいと思う。その際委員の方々でご都合がつく方がいらっしゃれば同席していただくことは可能か。

病院管理局副局長

答申書を提出する日が決まったところでお知らせし、ご都合のつく委員の方がいらっしゃれば同席していただけたらと思うので、対応可能である。

副委員長

あと一点だが、先ほど委員長の方から答申書の4番のところで文言を修正したらどうかと言う提案があったが、もし事務局の方で答申書を修正するようであれば各委員にもう一度正式な答申案という形で送っていただきたい。

病院管理局長

ただいまの件だが、委員長から修正案の提案が出されたが、まずは事務局と正副委員長と文言については調整をさせていただき、決定まで正副委員長にご一任をいただければと思う。決定した答申書を各委員にお送りすると言う形で、いかがかと考えている。

委員長

ご承認いただければそうさせていただきたいと思う。よろしく願います。

それでは、いろいろと委員の皆さまにご意見をいただいたが、委員会の議事はこれで終了する。

経営管理課長

基本構想について、市長に答申が提出された後に、事務局の方で策定することになっている。11月下旬から開かれる市議会12月定例会中に開催される厚生文教常任委員会において基本構想策定の報告をする予定となっている。

次に、本委員会の議事録について、事務局で作成し、後日確認のために各委員の皆様に郵送させていただく。内容をご確認いただき、修正等がある場合はご連絡いただきたいと思う。確認後の議事録につきましては皆様に配布させていただくが、合わせて市役所4階にある行政情報センターへ据え置くとともに、ホームページに掲載し公開するのでよろしく願います。

なお、本日が皆様との最後の会議となるが、ここで病院長からお礼のご挨拶をさせていただきたいと思う。

病院長

本日の会議をもちまして、小田原市立病院再整備基本構想策定検討委員会の会議が最後になるので、お礼のご挨拶をさせていただきたいと思う。委員長、副委員長をはじめ委員の皆様のおいては大変お忙しい中この委員会にご出席いただき、非常に多くの貴重なご意見を賜り、お陰様をもちまして非常に内容の充実した基本構想案が出来たと思っている。皆様のご努力に感謝する。ありがとうございました。今後は答申の後に公開することになるが、続いて来年度からは基本計画の策定に入りたいと思う。その進捗につきましては皆様にご報告を申し上げたいと思っている。また、改めて皆様のお力添えをいただきたいと思います。その際には、ぜひともご協力をお願いしたいと思う。皆様のご尽力に感謝をして挨拶とさせていただきます。ありがとうございました。

委員長

皆様どうもありがとうございました。川口病院長から話があったが、これから先どういう風に進んでいくのかこの委員会の委員の皆様には何らかの形で中間報告をしていただくことをお願いしたい。ありがとうございました。